



もっと知りたい!

日本とオーストラリアの違い

P8、9のアンケート結果から日本人とオーストラリア人の大きな違いがいくつか見えてきました。パースならではの「門出」をするためにも、「その違いはなぜ？」をオーストラリア人の「生活」「余暇」「仕事」「家族」の4つのジャンルに分けて徹底検証してみました!

オージーの生活

アンケートのQ1とQ2から日本人とオーストラリア人の睡眠時間に違いが隠されているようです。また、日常生活の中にもヒントがあるようです。検証結果を踏まえ、オーストラリアでの「生活」の仕方の工夫を編集部から提案します。

オージーは早寝早起き!?



オーストラリア国内には、時差(①)やサマータイム(②)があります。各州に支社がある全国規模の企業では、東部時間が基準になる場合が多いため、パースでは朝6時に家を出る人も珍しくありません。そして、パースの商業施設の営業時間も法律で定められているため、日本のような夜にショッピングといった習慣はほとんどありません。こういった理由から、朝早くに起きて、夜の就寝も比較的早いという生活が生まれているのでしょう。

①時差

769万2,024平方キロメートル(日本の約20倍)の面積を誇るオーストラリアには時差が存在します。東部、中央部、西部の3つに分かれ、パースのある西オーストラリアを基準にした場合、クイーンズランド州やニュー・サウス・ウェールズ州、ビクトリア州、首都特別地域、タスマニア州の東部は2時間早く、ノーザン・テリトリーと南オーストラリア州の中央部は1時間30分早くなっています。

出典: Australian Government

②サマータイム

オーストラリアには、Daylight Saving Time (DST) というサマータイムがあります。10月1週目の日曜日午前2時から4月1週目の日曜日午前3時の間は、クイーンズランド州以外の東部で1時間、南オーストラリア州では30分時計を進めます。

出典: Australian Bureau of Meteorology

パースならではの「門出」提案

① 就寝前にストレッチをする

就寝前のストレッチで血液循環を良くし、体をほぐしましょう。心身共にリラックスできるので、質の良い睡眠をとることができます。

② 朝起きたら朝日を浴びる

太陽光には体内時計を調整する働きがあります。規則正しい生活を送るためには、朝日を浴びるのが重要なことの一つです。

オージーは物事をハッキリ言う!?



オーストラリアは、多くの民族から成り立つ多民族国家(①)です。そのため、異なる文化背景をもつ人間同士では、曖昧な言い回しや細かなニュアンスが伝わらない場合があります。また、言語の構造から日本語は、一般的に文末に動詞がきますが、英語は主語の後に動詞がくるため、文章の初めに結論が述べられます。よって、英語は日本語よりも言葉が直接的に感じられると言われています。ここオーストラリアで、自分と異なる文化をもつ人やネイティブスピーカー(②)でない人も正確に意思疎通を図るためには、物事をはっきり伝えることが必要不可欠となります。

①多民族国家

2014年6月30日の時点で、オーストラリアに住む人々の28.1%がオーストラリア国外で産まれているという調査結果が発表されています。実際にオーストラリア住民の約4人に1人が、オーストラリア出身ではないのです。

出典: Australian Bureau of Statistics

②ネイティブスピーカー

オーストラリアで最も話されているのは英語で、国民の76.8%が使用しています。次いで、マンダリン語(1.6%)、イタリア語(1.4%)となっています。

出典: Australian Bureau of Statistics

パースならではの「門出」提案

③ 英語の勉強をする

状況ごとに使うべき英語は異なります。その場の状況に合った意思表示を行なうためにも生きた英語力を身につけて、人との関係を築いていきましょう。

④ 異文化交流をする

多民族国家であるオーストラリアには、様々な文化が混在しています。他文化を尊重し、理解しようとする姿勢をもちながら、交流を図ることが大事です。